

施策16 医療・健康

＜目指すまちの姿＞

誰もがいきいきと健康に暮らせるまち

■保健・医療・福祉の連携の推進等により、市民が健康増進に主体的に取り組めるよう支援を行い、生活習慣病やがん等の予防や早期発見ができ、医療が受けられる医療体制の充実により、誰もがいきいきと健康に暮らせるまちづくりに取り組めます。

＜施策に関する成果指標＞

健康寿命

＜現状値（令和2年）＞

男性：●歳
女性：●歳

＜目標値（令和14年）＞

男性：大阪府平均以上
女性：

※令和2年の大阪府平均は男性●歳、女性●歳
※大阪府算出によるため、直近の公表データを現状値とする。

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇国民健康保険被保険者を対象に特定健診等の若い世代での受診を推奨することで生活習慣病の早期発見に努め、健康意識を醸成しています。
- ◇健診結果をもとに生活習慣病の重症化予防及び改善を推進するため、食生活・運動習慣・禁煙等の保健指導を実施しています。
- ◇後期高齢者医療被保険者を対象に、フレイル予防につなげるため健康診査及び歯科健診等を実施しています。
- ◇関係機関と協力し、健康教室の開催や、健康づくりボランティアを育成しています。
- ◇市職員を対象として命を守るゲートキーパーの養成を行っています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇市内の産科、小児科が少ないため、広域での医療体制強化が必要です。
- ◇大阪府平均よりも短い健康寿命の延伸、自殺者数減少に向けたさらなる取組が必要です。
- ◇40歳～50歳代の特定健診受診率が低いため、健康づくりへの関心を高める取組が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



身近に体を動かす機会や場所があったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 安心できる医療環境づくり

- ◇公民ともに連携強化を図り、広域での医療体制・救急救命力の強化に取り組めます。
- ◇医療と介護の連携を強化し、在宅医療・介護の充実を図ります。

② 健康づくりの推進

- ◇各種健診・検診の周知及び受診率・予防接種率の向上を図り、健康づくりにつなげる支援を行います。
- ◇企業や関係機関との連携により、市民の主体的な健康づくりを促進します。
- ◇国民健康保険、後期高齢者医療などの制度の垣根を越えて一体的に栄養・運動・口腔ケア等に関する保健事業を実施することで、将来の介護予防につなげます。
- ◇ゲートキーパーの育成をはじめ、市民のこころの健康づくりを推進します。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇健康せんなん21（第2次計画）
- ◇泉南市自殺対策計画
- ◇泉南市国民健康保険 第3期特定健康診査等実施計画
- ◇泉南市国民健康保険 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）

施策17 地域福祉・困窮者対策

＜目指すまちの姿＞

誰もが取り残されることない、やさしさあふれる支えあいのまち

■生活困窮者に対する支援や、高齢者、障害のある人への生活支援・福祉サービスなど、支援を必要とする人が誰一人取り残されることなく、適切に利用できる体制づくりにより、やさしさがあふれる支えあいのまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

就労達成者数

＜現状値（令和3年）＞

27件

＜目標値（令和14年）＞

55件

※生活困窮者等の未就労者が自立支援プログラムを受講し、就労した人数
※令和2年度26件、令和元年度31件

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇多様化・複合化する地域課題に対応するため、高齢者と地域とのつながりを維持する取組を行っています。
- ◇将来的な困窮世帯の減少につながるよう、各種相談、支援を行っています。
- ◇成年後見制度利用促進法が施行され、判断能力が不十分な方について、権利擁護の促進が求められており、市民後見人バンク制度による後見人の確保に努めています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇制度・分野ごとの縦割りや支え手・受け手の関係を超えて、地域住民や多様な主体が我が事として分野を超えて、丸ごとつながることが必要です。
- ◇地域福祉の推進のために必要な環境を一体的かつ重層的に整備する相談支援体制の構築が必要です。
- ◇潜在的な生活困窮者の増加が想定される中、自立を支援する取組に加え、貧困の連鎖を断ち切る取組が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



支援を必要とする人が安心して相談できる場所があったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 地域共生社会の実現

- ◇「属性を問わない相談支援」や「地域づくりに向けた支援」などを「多機関協働」により、一体的かつ重層的に整備する支援体制を構築し、誰一人取り残さない地域の実現を図ります。
- ◇市民主体の地域での見守り活動を促進させるため、様々なニーズに適した効果的な情報発信により理解を促すとともに、活動の担い手の発掘や育成を促進し地域の支援体制の強化を図ります。
- ◇成年後見制度に関する支援体制の強化を図るため、成年後見総合センターを中核機関として、地域における権利擁護の普及啓発や利用促進を進めます。

② 生活困窮者福祉の充実

- ◇生活困窮者に対する緊急かつ一時的な各種給付や相談支援、就労支援により、その自立を支援します。
- ◇生活困窮者やヤングケアラー、引きこもり等の把握に努め、自立に至るまでの支援を行います。
- ◇貧困の連鎖により生活困窮に陥ることがないよう、子どもに対する学習支援を行います。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市福祉のまちづくり推進計画
- ◇泉南市第8期地域包括ケア計画
- ◇第5次泉南市障害者計画・第6期泉南市障害福祉計画・第2期泉南市障害児福祉計画

施策18 高齢者福祉

＜目指すまちの姿＞

健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしく暮らし続けられるまち

■市民が生涯を通じて生きがいを持ちながら健やかに暮らすことができ、支援が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムを深化・推進し、地域共生社会の実現に向けて取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

介護予防教室参加者数(延べ人数)

＜現状値(令和3年)＞

6,456人

＜目標値(令和14年)＞

10,000人

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇団塊の世代がすべて75歳以上となる令和7(2025)年、団塊ジュニア世代が65歳に到達する令和22(2040)年には、介護ニーズは一層増加し、多様化していくことが予測されます。
- ◇泉南市の高齢化率、高齢者人口に占める後期高齢者の割合は年々上昇しており、要介護・要支援認定者数も微増しています。
- ◇WAO(輪を)! SENNAN(「W」忘れてもだいじょうぶ「A」あんしんと「O」おもいやりの町せんなん)をめざし、多職種協働で認知症施策に取り組んでいます。
- ◇医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組みづくり(地域包括ケアシステム)に取り組んでいます。
- ◇介護予防の取組として、泉南市独自の介護予防体操「WAO体操2」の普及、市民向けの啓発「WAO地域」の開催、MCI(軽度認知障害)予防教室を開催しています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇持続可能な介護保険制度の運営のため、適切な介護認定、サービスの確保及び費用の効率化が求められています。
- ◇多様化・複雑化する高齢者を取り巻く生活課題に対応するための地域づくりが必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



高齢になっても元気に暮らせるよう、地域で健康づくりができる場所や機会があったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 地域包括ケアシステムの推進

- ◇多職種による連携を強化し、地域の多様な主体による支援を行う生活支援体制の整備を図ります。
- ◇介護サービス充実と質の向上、担い手の確保を図り、「WAO(輪を)! SENNAN」の実現に向け、高齢者が要介護状況になった場合でも、可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できるように、泉南市独自の地域包括ケア体制を深化・推進します。

② 介護予防の推進

- ◇健康でいきいきとした高齢期を過ごし、健康寿命を実現するため、一人ひとりが健康意識を高め、望ましい生活習慣を身につけ、疾病予防や生涯にわたる健康づくりを支援する取組を推進します。
- ◇要支援者や自立した生活を維持することが困難な高齢者を対象に、介護予防や生活支援サービス等を総合的に提供します。
- ◇地域住民が気軽に集える居場所の普及啓発、実施場所が増えるよう立ち上げ支援を行い、高齢者の活動的な生活、社会的な交流、身体的・精神的な充足を通して介護予防を図ります。

③ 持続可能な介護サービスの充実・強化

- ◇高齢者一人ひとりができる限り住み慣れた地域で生活を続けられるようなサービス提供体制の充実を図り、保健、医療、福祉、介護サービスの連携強化を進めます。
- ◇要介護認定、事業者支援、給付実績の点検等を通じ、費用の効率化と介護給付の適正化を図ります。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市第8期地域包括ケア計画
- ◇泉南市福祉のまちづくり推進計画

施策19 障害福祉

＜目指すまちの姿＞

障害のある人への社会的な障壁を取り除く必要なサービスや支援により、住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるまち

■障害のある人やその家族が、地域の中で安心して自分らしい生活を送ることができるよう、ユニバーサルデザインによるまちづくりや障害のある人への理解を促進し、それぞれのライフステージに応じて必要な障害福祉サービスの提供や相談支援体制の充実に取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

福祉施設から一般就労への移行者数

＜現状値（令和3年）＞

13人

＜目標値（令和14年）＞

25人

※福祉施設（就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型事業所）
※令和2年度14人、令和元年度14人

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇障害者手帳所持者数は、身体障害者手帳所持者数が減少傾向となっている中、療育手帳所持者数及び精神障害者保健福祉手帳所持者数は増加傾向となっています。
- ◇関連する各種計画に基づき、障害のある人・子どもの日常生活と、療育、教育、就労、スポーツや文化活動など多様なニーズにきめ細かく対応するために必要な障害福祉サービス等の見込量及び確保の方策を定め、サービスを提供しています。

＜施策に関する主な課題＞

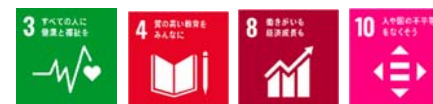
- ◇障害に関する理解を促進していくとともに、多様化・複雑化する福祉ニーズへ対応する分野を超えた総合的な相談支援体制が必要です。
- ◇障害のある人・子どもが社会参加活動や自立に向けて、住み慣れた地域でその人らしく生活を送ることができる支援体制を充実・強化することが必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



障害のある人・子どもと地域の住民が交流できる機会があったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 共生に向けた啓発の充実

- ◇多様な交流や啓発により障害者差別解消法や、合理的配慮などの障害に関する正しい知識を知ることにより、障害や障害のある人・子どもに対する正しい理解や認識を深めます。

② 身近な地域で暮らすための支援

- ◇障害のある人・子どもの心身の状況やニーズを的確に把握し、心身の健康の維持・増進・回復を図るため、関係機関と連携しながら、リハビリテーション体制等の充実、必要な障害福祉サービス、障害児通所支援等への給付を行います。
- ◇障害のある人の相談支援の中核的な機能を担う基幹相談支援センターを設置し、関係分野との連携のもと、障害のある人の地域移行や権利擁護の推進、相談支援体制の充実を図ります。

③ 自立と社会参加の支援

- ◇療育から教育、就労へとそれぞれのライフステージに応じた切れ目のない支援、スポーツや文化活動など、その人らしい生活を送ることができるよう、社会参加の促進に努めます。
- ◇就労支援事業所や企業等との連携、身近な地域での支え合い・助け合い活動を活性化し、障害のある人の就労機会の拡大、住まいの場の確保や住みやすい環境整備を進めます。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市福祉のまちづくり推進計画
- ◇第5次泉南市障害者計画・第6期泉南市障害福祉計画・第2期泉南市障害児福祉計画